

(一社) 東実業団空手道連盟加盟団体の皆様へ

令和元年5月18日尼崎ベイコム総合体育館会議室で行われた令和元年度第1回理事会・臨時総会において、全実空連事務局長から(一社)東日本実業団空手道連盟を全日本実業団空手道連盟の構成団体から除外するとの緊急動議が提出され、採決の結果承認されました。

その経緯(顛末)について御連絡します。

その前に議案として上がっておりました第4号議案 規約改正について説明しますと全日本実業団空手道連盟規約17条では全役員の定年は70歳、技術部会規則11条では技術部会員の定年70歳となっています。ただ、(公財)全日本空手道連盟技術規定改定により、公認審査資格員の定年が72歳になったことから、全日本実業団空手道連盟としてもそれに同ずる事が必要との事務局判断があり、令和3年3月31日までの時限規定として今、理事会に議案提案がされ、採決の結果、全役員の定年70→75歳、技術部会員の定年→72歳、改定案は異議なく了承されました。

全実空連へは構成連盟(東・西・自)からそれぞれ理事6人、理事長(全実空連副理事長)、会長(全実空連副会長)計8人派遣し、3団体24名で構成されています。東実空連としてはH31年3月19日臨時理事会で全実空連の規約の通り70歳定年で有る事から70歳を超えた矢内誠氏と、山村弘一氏は上記派遣理事の名簿には入れず、他の理事2人を推薦。(矢内氏は東実空連への訴訟の原告であり、現執行部の解任要求を社員総会に提案したが、当連盟社員より59団体の委任状の中、支持が5票しか得られなかった経緯もあり、社員の指示の得られていない者を派遣することは好ましくないとの経緯もある。)東実空連としては規定通りに提出した名簿のとおり派遣理事とし、矢内誠氏、山村弘一氏は全実空連から別枠で選任してほしいと提案したが認められず。東実空

連の派遣役員であるとの主張が繰り返された。3 団体平等の原則から、それは他団体への内政干渉であると抗議をした。

理事会の予定は 10:30~11:45 であったが延々と 14:00 過ぎまで続く。12:00 に当連盟の保坂会長、大澤理事長は公用の為、退席する。退席を見計らったように高山西実空連理事長、廣住全実空連事務局長、矢内全実空連理事長が過去 6 年間の東実空連が全実空連に迷惑を掛けてきたが如く、長時間にわたり責めたてる。東実空連の執行部は信頼できないので一緒にはやっけて行けないと繰り返す。全自空連の会長も理事長も欠席の中、廣住全実空連事務局長より、突然、(一社) 東日本実業団空手道連盟を構成団体から除外する緊急動議が出され、採決が行われた。決議には議決権の 2/3 以上必要。議決権数 25 (名誉会長 1 名含む)

西実空連 8 名賛成 (1 名棄権)、全自空連 3 人賛成 (棄権 2 名、3 名委任状提出) 東実空連 1 名賛成 (棄権 2 名・退席者 1 名委任状) 反対東実空連 4 名 集計すれば 賛成 $8+3+1+委任状 4=16$ 名、反対 4 名 棄権 5 名との集計となったはずが賛成 18 名として事務局から発表され (間違いか? 故意か?)、東実空連を構成団体から除外する緊急動議は成立したとの議長からの発言があり、意義申したてする間もなく当連盟の 4 名は即刻退席させられた。

しかし、その時点では $25 \times 2/3 = 17$ 名以上の賛成があった場合、成立となるが、賛成 18 名 (間違い? 故意?) との事務局からに発表で成立したかのよう
に思えたが、全実空連規約改正で 27 条 4 項に「委任状提出者は出席者とみなす。
ただし、委任状提出者の議決権はこれを認めない。」との決議がなされている
ため、 $16 名 - 4 名 (委任状) = 12 名$ で (一社) 東実空連の構成団体除外決議は不成立となります。(全自空連に確認済み。)

このことは全実空連・西実空連・全自空連に書面にて通知致しております。
又、全空連への緊急申し立てを行う予定です。

第53回大会実施についてですが現在のところ、開催することで準備を進めております。しかし、驚くことに大会終了後、全日本実業団空手道連盟事務局が中心となり新組織設立するなどとした書面が当連盟各団体に送付されるなど信じられない行為が発覚しております。現在、全空連にその旨を連絡しておりますが、前代未聞の暴挙であります。このことがもし、容認されるようなことがあれば大会は中止せざるを得ません。今回、(一社)東実空連構成団体除外決議に当連盟の矢内誠氏と山村弘一氏両名が賛成された事は、非常に残念な事です。

以上が顛末であり、中間報告といたします。いずれにしても会員の皆様に不安と混乱を与えてしまっていることに対し、お詫びを申し上げるとともに早期解決を図るよう進めてまいりますので外部からの情報に惑わされることなく、どうか宜しくお願い申し上げます。

令和元年5月26日

一般社団法人東日本実業団空手道連盟
代表理事・会長 保坂 三藏

